

豊岡市立弘道小学校 NO.17

# 学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

令和5年12月20日



文責 内海忠裕

週1~2回更新中。  
ぜひご覧下さい。

## 子育てはつながりの中で

- ◆ 新型コロナが第5類になった5月以降、社会はまた以前のように動き出しました。子ども達も、少しずつですが、マスクを外し、笑顔で仲間と過ごせるようになりました。様々な体験活動や、日常のふれあい活動など、形は変わりつつ、子ども達に必要な「つながり」は大切にされてきた1年となりました。
- ◆ 創立150周年記念事業では、保護者・地域・校友会など、様々な皆様と学校がつながっていることを強く感じました。子ども達への熱い思いをお持ちの方々に囲まれて、温かく強いつながりの中で、子ども達がすくすくと育っていることに、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。
- ◆ コロナ禍には、オンラインでの会議やミーティング、オンラインでの飲み会まで話題となりました。しかし、対面でのコミュニケーションと ICT 機器を使ったオンラインでのコミュニケーションでは、その質が全く違うことがわかってきています。オンラインの話し合いでは、「1回の発話量が多い」「会話の往復が少ない」「相槌やうなずき、会話が被ることが少ない」その結果、「満足度が低い」傾向にあります。子ども達は、必要に応じて授業でタブレットを活用しつつ、表情を見て反応しながら話し合う「対面でのコミュニケーション」を今後も大切にしていきます。
- ◆ 「子ども達に、何かしてやりたいな。」今年、多くの皆様からお聞きした言葉です。そうした温かいお気持ちを持っていただいている保護者・地域の皆様と子ども達が、日常的にあいさつしたり言葉を交わしたりすることこそが、人の心に潤いを与え、つながっている喜びを感じ、幸せの交換をすることになると信じています。保護者、地域の皆様、1年間本当にありがとうございました。



↑ 地域行事でのつながり

(保護者、地域の方に、わらじをはく等のお手伝いをしていただいています。)



↑ 異年齢でのつながり

(体育委員会主催のドッジボール大会で、違う学年の仲間と過ごしています。)

## 冬休みを前に～子ども達にリアルなふれあいを～

年末年始、大変お忙しい中ですが、子ども達にも年齢や意欲に応じた役割を果たせるよう、ご家族で話し合っ、やり遂げる経験をさせましょう。

保護者から一方的に押し付けても、きっと子どもはさせられている気持ちでいっぱいになってしまいます。子どもにゆだねるだけでは、何もしてくれない可能性もあります。大切なことは、**家族での話し合いを重ねること**です。①時間や場所を決める②完璧を目指さない③親子で一緒にする④「ありがとう」は大人から言う・・・など、ご家庭の状況に合わせて、工夫してみましょう。

子ども達と話したり、一緒に作業したりして、ふれあいが普段よりも多い冬休みになることを願っています。

## スマホ（ゲーム、SNS等）のし過ぎ・ネット依存が子どもに与える影響

ご家庭では、どのようにゲームやスマホ、SNSを利用されていますか？それらの弊害について書かれた書籍が多く販売されています。インターネットを過度に使用すると、「注意が散漫になって集中できない」、「気分が落ち込んでやる気が出ない」「人と関わるのが怖くなる」「小さなことでイライラしてすぐ切れる」等の状態に陥ってしまう危険性があることを警告する書籍もありました。また、スマホを横目に3時間勉強しても、その成果は30分程度であると指摘する研究者もいます。

さらに、メディア利用と睡眠について述べられた書籍もあります。「睡眠は、身体の傷を治し、免疫力を高め、学習したことなどの記憶を整理し定着させる働きがある。」「睡眠時間が5時間未満だと、3時間以上勉強しても、成績に反映されにくい。」「スマホなどの使用を1時間未満に抑えることができれば、睡眠時間が確保され、学力の低下を防ぐことができる。」など、睡眠の大切さを説く研究者もいます。我々大人は、そうしたメディア依存の危険性を正しく学び、子ども達に上手なメディアとの付き合い方を身につけさせなければなりません。

冬休みに、生活リズムが崩れないようにすることが、子どもの健やかな成長にとって欠かすことはできません。

- 毎日同じ時刻に起きて同じ時刻に寝る。土日も、大晦日も、元旦もおなじ。
- ゲームや動画視聴等メディアの使用は、1日2時間まで。できれば1時間以内に。
- メディアに依存しないように、読書や創作活動、運動、自然体験など五感で刺激を受ける活動の機会をつくる。

子どもも大人も、メディア無しの生活は不可能です。しかし、発育途上の子ども達はその影響を大きく受けるため、一定の制限や我慢の上で適度に使用する習慣を、各ご家庭で定着させていくことが、今子育ての大きな課題となっています。

学校でもPTAでも、メディアや情報機器の利用について、学ぶ機会をつくっています。学校と家庭で危機感を共有しながら、子ども達の適切なメディア利用について、一緒に考えていきましょう。



★メディア利用を減らし、本を読もう⇒